

美瑛富士トイレ問題；美瑛富士トイレ管理連絡会について

山のトイレを考える会

北海道で唯一、避難小屋と野営指定地がありながら、この場所にトイレの無いのが美瑛富士避難小屋である。この場所のトイレ問題は、山のトイレを考える会（以下、当会と称す）が発足した２０００年８月以来の懸案である。

当会では発足当初から２０１３年迄は、山岳トイレ設置の方針で改善運動を実施してきた。その中では、２００６年に山岳トイレ設置要望の署名活動を実施し、２６,７６８筆の署名を環境省北海道地方環境事務所に提出した。しかし、問題解決への進展は無かった。

そして、現在様々な理由により、美瑛富士避難小屋周辺エリアでは従来からの山岳トイレ設置方針から転換して、携帯トイレ使用の山域として対処していくことを当会としては、決定した。携帯トイレ使用の山域であるためには携帯トイレブースが必要不可欠となる。その携帯トイレブースの維持管理を使用者側として担っていくことを目指し、全道の登山団体が協働して行っていく為に「美瑛富士トイレ管理連絡会」を以下の日程で発足した。その発足に使用した書類をここに掲載しておく。

このような取り組みは北海道が初めてではなく、地域の様々な方々が協働して活動されている先進的な地域は既にある。飯豊連峰保全連絡会・朝日連峰保全協議会で活動されている東北の皆さん、神奈川県丹沢・大山山域でのボランティアネットワークの皆さん、直近では本資料集に寄稿頂いた四国・愛媛県石鎚山トイレ問題検討委員会の皆さん等多くの方々である。私達は、それら皆さんの活動を手本に、後を追っているところである。北海道の真価はこれから問われる。

「日 程」

- １．２０１５年１月１５日(木) 美瑛富士トイレ管理連絡会 設立準備会
- ２．２０１５年３月１４日(土) 美瑛富士トイレ管理連絡会 設立総会

「書 面」

- １．美瑛富士避難小屋トイレ問題の経緯と携帯トイレ導入の方針
- ２．美瑛富士トイレ管理連絡会 設立趣旨書（案）
- ３．美瑛富士トイレ管理連絡会規約（案）
- ４．美瑛富士・携帯トイレブース 点検パトロール作業マニュアル
- ５．美瑛富士・携帯トイレブース 点検パトロールの実施管理（案）

美瑛富士避難小屋トイレ問題の経緯と携帯トイレ導入の方針

資料.1

1. はじめに

- ・北海道で唯一、避難小屋と野営地があるがトイレの無い山岳地
- ・糞便やティッシュが散乱しており、植物の踏み付けによる裸地も拡大、し尿による環境悪化が懸念される
- ・毎年、山のトイレデーやいろいろな山岳団体で清掃登山を実施しているが、一向に改善されない



2. 今までの取り組み

- ・山のトイレを考える会で清掃登山実施 ティッシュ142箇所、糞便51箇所回収 (2004年)
- ・2003年から毎年トイレデーで清掃実施
- ・トイレ設置を求める署名26,768筆を環境省と北海道に提出 (2006年)
- ・2005年フォーラムから毎年テーマとなるが具体的な進展なし
- ・美瑛富士避難小屋に適したトイレについて2004～2009フォーラムで検討
- ・山のトイレを考える会との意見交換会
美瑛町: 2003年、2006年
環境省(北海道): 2006年、2007年
- ・美瑛山岳会の協働型登山道維持管理作業に協力 (2011年2013年)



3. トイレ設置が進まなかった要因

- ・美瑛山岳会が高齢化が進み永続的な維持管理は無理
- ・環境省では維持管理が担保されないと設置しない
- ・美瑛富士の厳しい山岳環境に適応でき、メンテナンス負担の少ないバイオトイレはない



4. 携帯トイレ導入施策の提案

携帯トイレ利用による糞便の持ち帰り施策を提案します



- ・利尻山、知床(羅臼岳)、アポイ岳で導入しておりノウハウが蓄積された
- ・登山者も携帯トイレ使用の抵抗感もなくなりつつあり、協力が得られる
- ・トイレ設置と比較して、イニシャルコスト、ランニングコストが格段に安い
- ・維持管理作業はそれほど難しくない

5. 具体的な対策案

- ・野営地に携帯トイレブースを設置
- ・登山口に携帯トイレ回収BOXを設置
- ・携帯トイレブースの定期的な維持管理作業は北海道山岳団体と山のトイレを考える会、その他賛同してくれる組織等がトイレ連絡会を組織して行う
- ・固定式携帯トイレブースの設置、携帯トイレ回収BOXの維持管理、使用済み携帯トイレの処分について関係機関と協議する
- ・これらの施策を実施するために美瑛富士トイレ管理連絡会 (仮称)を発足させる

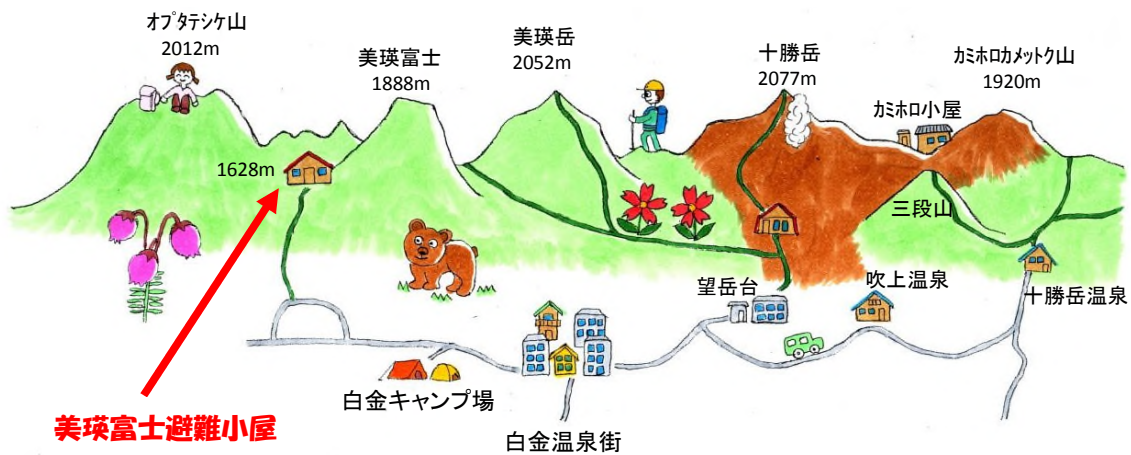
6. 役割分担表

実施項目	担当
ブースの設置	環境省
回収ボックスの設置	考える会or美瑛山岳会
ブースの維持管理	連絡会
回収ボックスの維持管理	美瑛町
使用済み携帯トイレの処分	美瑛町
広報	関係機関と考える会

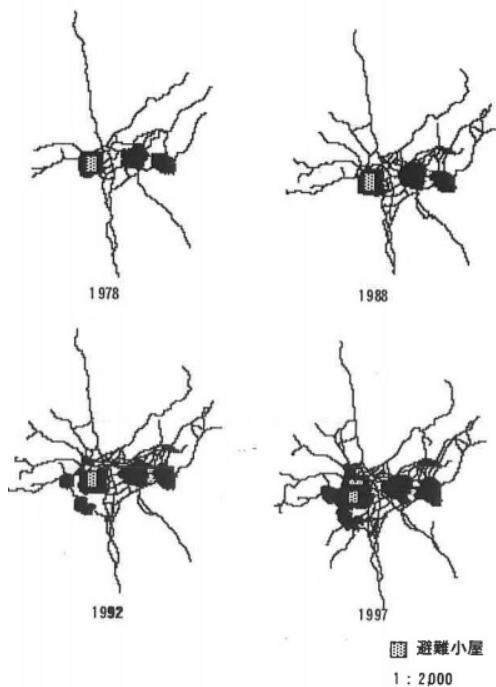
※トイレ管理連絡会: 北海道山岳団体、山のトイレを考える会等で構成。
維持管理点検日と実施者の日程調整は山のトイレを考える会が担当
※関係機関: 北海道地方環境事務所、上川中部森林管理署、
上川総合振興局、美瑛町

7. 実行スケジュール

実施項目	2014年	2015年	2016年
連絡会立ち上げ・検討	—	—	
試行実施・評価		—	
折衝・予算獲得		—	
ブース・回収BOX設置		—	—
周知看板設置		—	—
維持管理日程調整		—	—
登山者への周知		—	—
使用済み携帯トイレ処分		—	—



■美瑛富士野営地の裸地拡大図
(提供:北海道大学 愛甲哲也)



山のトイレデー(2003.9.7)
ティッシュの回収



美瑛富士清掃登山(2004.9.5)
(ティッシュ142箇所、糞便51箇所回収)



美瑛富士清掃登山
(糞便とティッシュの回収)



美瑛富士清掃登山(17名参加)



登山道整備の資材運搬協力(2011トイレデー)



札幌駅前街頭署名の準備(2005.7.28)



札幌駅前街頭署名活動(2005.7.30 & 8.6)



環境省と北海道に署名提出(2006.6.27)

■回収BOXの設置場所(案)
美瑛町観光センターのトイレ横



■周知看板設置場所(案)
白金温泉登山口と避難小屋内
及び野営地

美瑛富士のトイレ問題

美瑛富士避難小屋にはトイレがありません。
そのため汚物やティッシュが散乱して山岳環境を悪化させています。
排泄物は携帯トイレで持ち帰るようご協力をお願いします。
携帯トイレ回収ボックスは〇〇〇〇〇にあります。
環境省・美瑛町
山のトイレを考える会



白金温泉登山口

周知看板イメージ

■携帯トイレブース設置場所(案)
美瑛富士野営地または小屋裏側



携帯トイレ



携帯トイレ回収BOX



美瑛富士避難小屋と携帯トイレブース(写真重ね合わせ)

【美瑛富士トイレ管理連絡会 設立趣旨書(案)】

1. 趣旨

私達は、美瑛富士避難小屋周辺のトイレ問題を改善する為に、当該地域を携帯トイレ使用で対応することを提案する。携帯トイレ使用エリアとする為に、当該地域には「携帯トイレブース」の整備(環境省に整備を願う)を目指す、利用者側(登山者側)も維持管理をサポートすることが必要と考える。

美瑛富士避難小屋付近の「携帯トイレブース」を維持管理する為に、賛同する山岳団体等が協力し合って横の繋がりを担う「美瑛富士トイレ管理連絡会(仮称・案)」を設立するものとする。

2. 賛同する団体が担う「携帯トイレブース」維持管理活動(案)」

1) 美瑛富士避難小屋付近の「携帯トイレブース」の点検パトロール

詳細については添付別紙; 資料. 4による。

2) 点検パトロール結果をメーリングリスト(以下ML)上にて報告

詳細については添付別紙; 資料. 5による。

3) 1シーズンにおける点検パトロール頻度

6月中旬から9月下旬の間を想定する。暫定的に2週間に1回の点検パトロールを考慮し、1シーズン中に連絡会全体で8回程度実施するものと想定する。従って1山岳団体は、少なくとも1シーズン中に1回のパトロールを担うものとする。

なお、将来の参加団体の増減、参加団体内のマンパワー状況等の状況変化によっては、連絡会内部の協議・合意のうえでシーズン中のパトロール回数は、変更することを可能とする。

3. 規約(案)

詳細については添付別紙; 資料. 3による。

4. 設立年月

2015年3月14日

北海道山岳連盟 会長 小野倫夫

札幌山岳連盟 会長 佐藤 眞

北海道勤労者山岳連盟 理事長 山本裕之

北海道道央地区勤労者山岳連盟 会長 長水洋

北海道道北地区勤労者山岳連盟 会長 吉山一徳

日本山岳会北海道支部 支部長 西山泰正

北海道山岳ガイド協会 会長 石川裕司

白老山岳会 会長 鈴木靖男

山のトイレを考える会 代表 岩村和彦

(順不同)

美瑛富士トイレ管理連絡会規約(案)

2015 年 3 月 14 日

1. 当会は、「美瑛富士トイレ管理連絡会」と称する。
2. 当会は、大雪山国立公園の美瑛富士避難小屋・野営指定地周辺におけるトイレ問題の解決のための活動に賛同した山岳団体等（以下、賛同団体）の連絡を目的とする。
3. 当会は、美瑛富士避難小屋の携帯トイレブースの定期的な点検と清掃などに参加する賛同団体の連絡・調整を行う。
4. 当会は、夏山シーズン前と後に、賛同団体の担当者の打ち合わせを行う。ただし電子メールでの打ち合わせも可とする。
5. 当会の賛同団体は別紙の名簿に記載し、新たに加入する団体がある場合は、各賛同団体にその都度連絡をする。
6. 当会の活動にかかる経費は、山のトイレを考える会が負担する。ただし、各賛同団体による活動にかかる経費は、各団体が負担する。
7. 美瑛富士避難小屋携帯トイレブースの定期的な点検と清掃に関わる活動は、往復の移動も含めて、各賛同団体の責任によって行うものとする。
8. 当会の事務局を、山のトイレを考える会がつとめる。
9. この規約に定められていない事項は、賛同団体の合議により決定する。

以上

美瑛富士・携帯トイレブース 点検パトロール作業マニュアル

2015年3月14日

美瑛富士トイレ管理連絡会
山のトイレを考える会

2015「美瑛富士・携帯トイレブース」 点検パトロール作業マニュアル

美瑛富士避難小屋の野営地に設置される携帯トイレブースを登山者が心地よく利用するため、定期的に設置状態、内部の汚れなどを点検・清掃する作業内容です

パトロール周期

6月中旬～9月下旬の夏山シーズン中に、原則として2週間に1回実施します。パトロールの担当は「美瑛富士トイレ管理連絡会」の賛同団体で分担して実施することとします

事前準備

- ・パトロール人員は一人でも可です
- ・持ち物：カメラ、火バサミ、ゴミ袋、ゴム手、移植ゴテ、雑巾、タワシ、清掃用水2ℓ、トイレットペーパーまたはウェットティッシュ、筆記用具等
(注) 火バサミ、移植ゴテ、タワシ、使い捨てゴム手、ガムテープ、ペーパータオルは避難小屋内にも保管してありますので、持参しなかった場合は使用願います。
腕章も置いてありますので、適宜使用願います。
- ・事前の手続き：
 - ①山のトイレを考える会（以下、考える会）で実施団体をメンバーリスト（以下ML）のスケジュール表に入力
 - ②考える会からMLで下記に連絡し情報を共有化
 - ・美瑛町役場 ・美瑛山岳会 ・環境省東川自然保護官事務所
 - ・林野庁上川中部森林管理署 ・上川総合振興局
 - ③登山口ゲート鍵番号の上川中部森林管理局への問い合わせ
 - ④登山計画書の提出
(提出方法、提出先は各団体の既存の方法による)
- ・天候悪化等での中止や日程変更の場合：事前に考える会に連絡のこと

当日

- ①美瑛富士白金温泉コースのゲートを開錠し駐車場に駐車
- ②登山口設置の入林届けに記入
- ③登山開始（美瑛富士避難小屋まで約3時間）
- ④美瑛富士避難小屋到着後、小屋配備の腕章を付け次の点検等を実施
これらの作業は強制ではありません。できる範囲でお願いします

- ・携帯トイレブース本体の確認（破損、固定ロープの緩みはないか）
 - ・携帯トイレブースの内部状況を確認
 - ・内部が汚損していた場合は清掃（携帯トイレや尿尿、紙の放置物は回収、持ち帰り）
 - ・小屋周辺のティッシュの散乱状況の確認、回収。回収数記録。
 - ・小屋内外の確認（損傷した箇所はないか）
 - ・小屋内の確認（清掃はされているか。放置したゴミの確認。小さなゴミの回収）
- ※必要に応じて写真撮影をお願いします

- ⑤緊急を要する破損などを発見した場合は、その時点、もしくは下山後すぐに考える会事務局に連絡
- ⑥簡易な補修を手持ちの道具で可能であれば実施。ただし、その対応状況とさらに追加の補修が必要かどうかを必ず考える会事務局に連絡。関係機関に連絡して対応を検討します
- ⑦下山（山道入口まで約2時間30分）
- ⑧回収したティッシュやゴミ、放置携帯トイレの処分法（未定：関係機関と検討）

下山後

- ①「美瑛富士・携帯トイレブース等点検パトロール実施報告書」（以下実施報告書）に確認・記録事項を記入し、考える会事務局に撮影した写真を添付しメールで報告

【実施報告書送付先及び連絡先】

山のトイレを考える会事務局

（日常）電子メール：hokkaido@yamatoilet.jp

FAX：011-706-2452（北海道大学農学部内 愛甲）

（緊急時）事務局長：愛甲（090-3770-7401）・広報担当：仲俣（090-4873-3525）

美瑛富士・携帯トイレブース等点検パトロール実施報告書

実施年月日		団体名／所属先	
参加人数	人	報告者	

NO	点検項目	結果と措置内容
1	携帯トイレブース本体 (テントの破損は無い、固定ロープの緩みはないか等)	
2	携帯トイレブース内 (汚れていないか、便座の破損はないか等)	
3	小屋周辺のティッシュ散乱状況 (ティッシュ散乱数、または回収数の確認、その他のゴミ散乱状況確認、回収)	
4	小屋内外 (損傷した箇所はないか等)	
5	小屋内 (清掃はされているか、放置したゴミはないか、小さなゴミは回収したか等)	
6	その他	

感想・特記事項

参加者名 (※はリーダー)
※

※実施後、速やかにメール(hokkaido@yamatoilet.jp)かF A X(011-706-2452)で報告のこと

MLの立ち上げからパトロール実施・報告の流れ

・MLの管理は「山のトイレを考える会」で実施
(①②③④⑤⑧は山のトイレを考える会で実施)

- ①美瑛富士トイレ管理連絡会MLの立ち上げ
(FreeMLを利用する)
- ②賛同団体(窓口2名)をMLの参加メンバーに登録
- ③年間パトロール日の決定
- ④MLでパトロール日を周知・参加申込み募集
(基本は先着順、競合した場合は調整。日程が埋まらない場合は、さらに参加を呼びかける)
- ⑤MLのスケジュール表に登録
(ML参加メンバーが登録状況をいつでも閲覧可能にする)
- ⑥パトロールの実施
(作業マニュアルを参考にパトロール実施)
- ⑦パトロール結果をMLで報告
- ⑧シーズン終了後、報告結果をまとめMLで報告

FreeMLの主な機能

- メール送受信
- スケジュール管理(パトロール日、その実施団体が分かる)
- 写真共有(パトロール時に撮影した写真をアップできる)
- ファイル共有(パトロール報告書をアップできる)

スケジュール管理 ファイル共有

メール送受信 写真共有 参加メンバー確認

ML TOP メール スケジュール フォト共有 ファイル共有 参加メンバー

新しい予定を追加 日時を調整する

共有スケジュール 月表示

2014年8月2日 土曜日 15:00 ~ 17:00

羊蹄山避難小屋バイオトイレ調査(1)
yoshieさん 投稿日時2014/06/26 21:32

予定場所: 羊蹄山避難小屋
予定内容: 土壌処理方式(TSS)の調査

詳細

ここをクリックすると詳細が表示される

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
					追加	羊蹄山避難小屋バイオトイレ調査(1) 追加
3	4	5	6	7	8	9
追加	追加	追加	追加	黒岳トイレ汲み取り(3回目) 追加	追加	追加
10	11	12	13	14	15	16
追加	追加	追加	追加	追加	追加	追加
17	18	19	20	21	22	23
追加	追加	追加	追加	追加	追加	追加
24	25	26	27	28	29	30
追加	追加	追加	追加	黒岳トイレ汲み取り(4回目) 追加	追加	追加
31	1	2	3	4	5	6
追加						